

水をきれいにするために多くの機械が働いています

水をきれいにするのは活性汚泥の中にある微生物たちですが、その微生物が活躍できるようにするため、多くの機械が働いて

- 水処理のための主な機械
- 【ポンプ棟】 破砕機4台、主ポンプ5台
 - 【ブローラ棟】 送風機4台
 - 【沈砂池棟】 自動除塵機3台
 - 【最初沈殿池】 汚泥掻寄機9基
 - 【水処理棟】 水中攪拌機20基
 - 【最終沈殿池】 汚泥掻寄機9基

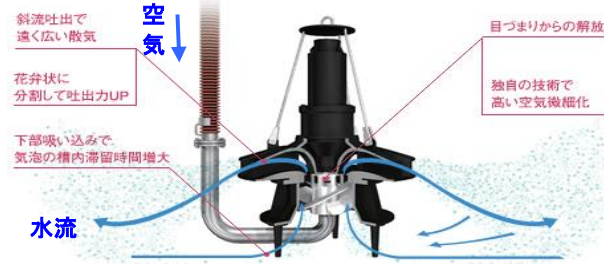
下水道処理場内の水の流れ
下水管を通して処理場に流入した汚水は、最後は下に沈む汚泥と上の水と別々に処理されます。流入した汚水は約20時間かけてきれいな水にされ、犀川に放流されます。

ブローラ装置 (送風機)



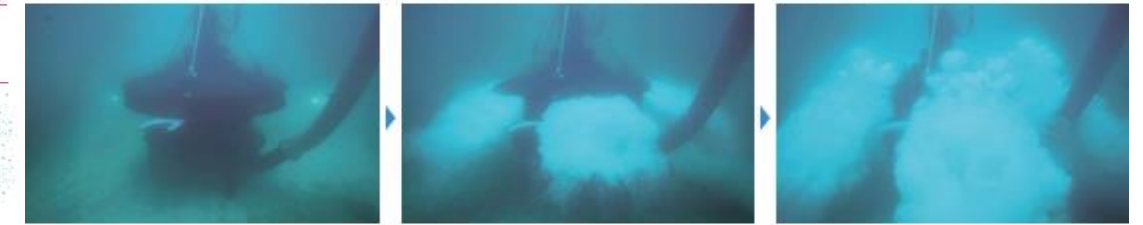
ブローラ棟送風機の全景

水中攪拌装置



水中攪拌機のしくみ

ブローラから送られてきた空気は、反応槽の中で攪拌機により細かな気泡となり隅々にいきわたります。



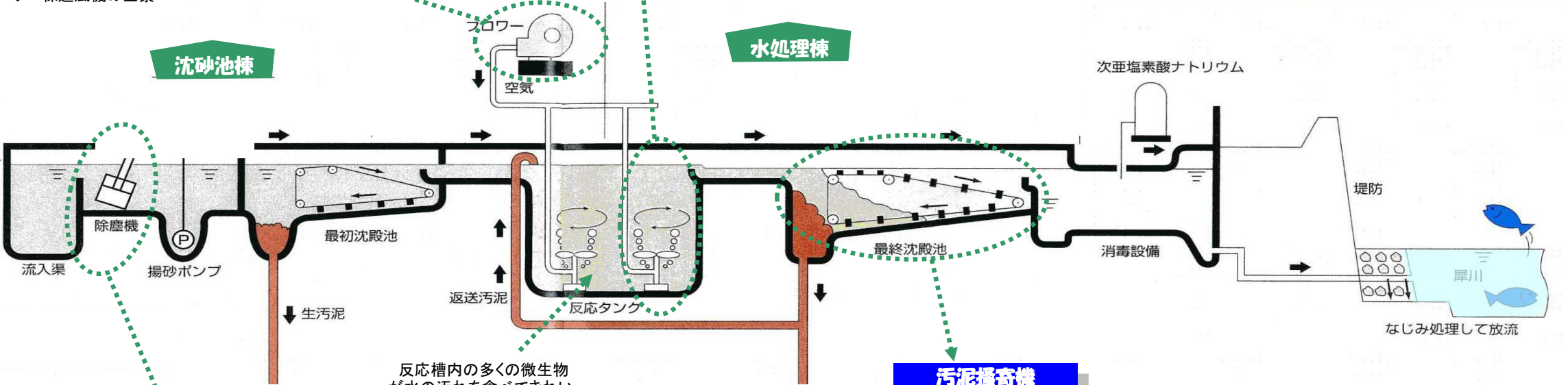
水中攪拌機により水中で攪拌される空気の様子

送風機のしくみ
反応タンク内の微生物に活躍してもらうため多量の空気が送り込まれます。
大型 90m³/分
小型 45m³/分

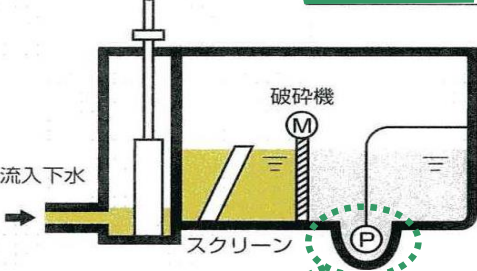
反応槽内の多くの微生物が水の汚れを食べてきれい

沈砂池棟

水処理棟



ポンプ棟



水中汚水ポンプ

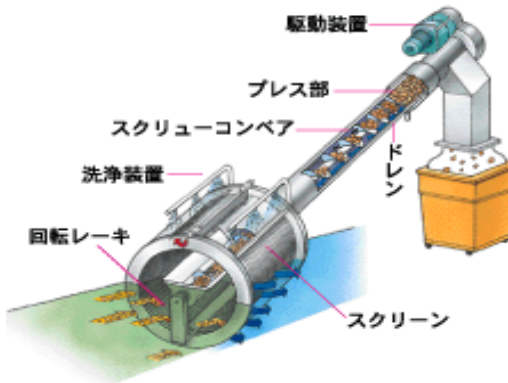
水中汚水ポンプのしくみ
終末処理場の地盤より7m地下に設置された流域下水道管を流れてきた水を約地上4.3mの高さまでくみ上げています。現在のポンプは最大毎分16トンの汚水をポンプアップしていますが、25mのプールの水を約23分間で空にする能力です。



水中汚水ポンプ

自動除塵機

自動除塵機のしくみ
流れてきた汚水中のゴミ類をすくい取り、洗浄し、水を切る一連の作業を自動化しています。



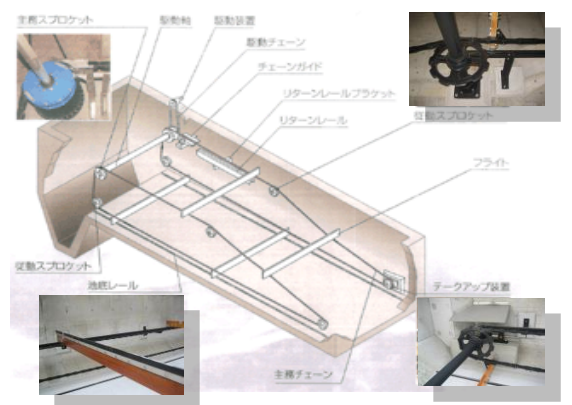
除塵機のしくみ

汚泥掻寄機

汚泥掻寄機のしくみ
最終沈殿池に沈殿した汚泥をゆっくりと(30cm/分)掻き寄せて(集めて)います。



最終沈殿池の全景



掻寄機のしくみ